

オプトアウト文書

○胸部 X 線 CT 画像を用いた医学系研究に対するご協力をお願い

当院診療支援部放射線室では過去に受診された方の胸部 X 線 CT 画像を用いた医学系研究を倫理委員会の承認ならびに施設長の許可のもと、倫理指針および法令を遵守して実施しますので、ご協力をお願いいたします。

この研究を実施することによる受診された方への新たな負担は一切ありません。またプライバシー保護については最善を尽くします。

本研究への協力を望まれない方は、その旨を「9.お問い合わせ」に示しました連絡先までお申し出くださいますようお願い致します。

1. 対象となる方

当院において 2022 年 4 月 1 日から 2025 年 8 月 31 日までに胸部 X 線 CT を撮影した方のうち撮影時年齢が 20 歳以上の方。

2. 研究課題名

画像等手術支援加算の改訂に伴う、最適な Computed tomography (CT)画像の検討

3. 研究機関名、研究責任者名

代表研究機関

東大和病院診療支援部放射線室

大野隆介

共同研究機関

東大和病院	診療支援部放射線室	高橋雄大	診療放射線技師
東大和病院	診療支援部放射線室	湯浅智儀	診療放射線技師主任
東大和病院	診療支援部放射線室	三浦幸司	診療放射線技師主任
東大和病院	診療支援部放射線室	内藤哲也	診療放射線技師技師長

4. 研究機関の意義、目的、方法

画像等手術支援加算は定期的に見直しされ、適応術式が増加しています。CT 検査の画像は診断だけでなく術式の決定や術前シミュレーション、手術時のガイドにも重要となります。当院では、整形外科の脊椎手術や呼吸器外科の胸腔鏡下手術、ロボット支援手術など多岐にわたり行われています。

本研究では、昨年度の画像等手術支援加算の対象となった脊椎手術の手術記録を基に術前 CT 画像の MPR 角度を測定・分析し医師が術前画像として求める基準角度とのズレを評価します。評価方法は、過去の腰椎 CT 画像から第 1 から 5 腰椎が基準となる角度と比較し差があるかを検証します。さらに、基準角度及び結果を放射線技師内で

共有し、勉強会を通じて撮影プロトコルの標準化を図ります。その後、改善後の画像を再評価し適切な MPR 角度であるか検証します。これにより、術前画像の精度向上が期待され、手術術者である医師のサポートにつながるとともに、患者様の手術時間短縮が期待されます。

5. 協力をお願いする内容

過去に撮影させて頂いた胸部 X 線 CT 検査の画像データを学会等の発表時に使用させていただきます。

6. 本研究の実施期間

研究実施許可日から 1 年

7. プライバシーの保護について

- (1) 本研究で取り扱う検査を受診された方の個人情報、胸部 X 線 CT 検査の画像データのみです。その他個人情報（氏名・住所）などは一切使用致しません。
- (2) 本研究で取り扱う画像データは、匿名化を行い、第三者には個人は一切わからない形で使用致します。
- (3) 検査を受診された方の個人情報と、匿名化した画像データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の代表研究者が厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、本研究の報告が終了した時点で完全に抹消し、破棄します。
- (4) 連結データは当院のみで管理し、他の共同研究機関等には一切公開されません。

8. 利益相反開示

本研究で開示すべき利益相反事項は一切ありません。

9. お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は下記へご連絡下さい。

また本研究の対象となる方またはその代理人(ご本人より本研究に関する委任を受けた方など)より、胸部 X 線 CT 検査の画像データの使用の停止を求める旨のお申し出があった場合は、直ちに画像の使用を中止し、該当画像の削除を行いますので、下記へご連絡お願い致します。

研究責任者

社会医療法人財団大和会 東大和病院 診療支援部 放射線室

大野 隆介

042-562-1411(内線 2220)